

東武廣録

卷六

内閣文庫	
番號	和 36649
冊數	20 (6)
函號	152 · 23

内閣文庫			
五三函	三六六四九	和	
四架	二〇冊	書	
	號	類	



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

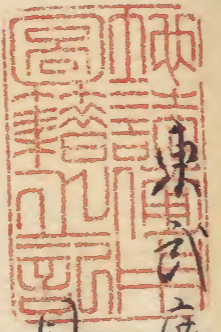
Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak



綴じ部(喉部分)の文字など開きが不鮮明な箇所あり



東武廣錄十

目錄

公方様

才三



公方様 白志村近鳥狩之事

赤坂君様 御婚禮之事

御當家 御禮法 御法合之事

一 御中事

東武廣録十

公方様戸田吉村遊鳥狩之事

一享保七壬寅年二月十六日於戸田吉村遊鳥狩之事

人相法令九之通

奥流市小御戸 松平孝助 市小姓組長 小坂松右衛門

仙石同備守組 服部久左衛門 長井伊豆守組 山田権八郎

酒井日向守組 鈴木頼母 曾我内膳守組 坪内主水

市使頭

向井兵庫

秋元隼人正組

三宅源次右方

吉本伊勢守組

長垣市右方

川人組

鈴木主膳

小十人氏

曾我七多侍

安藤伊勢守組

小沢瀨兵衛

海口橋守組

田中市右方

仙石丹波守組

酒井民部

仁木用成守組

近藤高右方

柳書院書者組

松野八郎右衛門

河部正守組

栗原仁右方

河部正守組

西尾典忠右衛門

置部大進組

英濃郡八喜坊

市使頭

松波主膳

置部大進組

小島五郎孫七郎

松平内匠正組

松田六郎又郎

松平内匠正組

徳永八左衛門

小十人氏

山内又郎作

赤川右衛門守組

青柳内記

板倉下守組

水野小左衛門

板倉下守組

能勢市十郎

小十人氏

置部權次郎

坂清若殿守組

石野木之助

福地守守組

統之又郎

福地守守組

石黒九多侍

市目月

福葉多吉

小十人氏

能勢三十郎

三十三騎内当流三十三人

柳条目

一 騎馬列車は令路に列車始りし所御殿方より浦を人宛
順へ通馬之置り向面へ之馬より寄立改下り助者等分

二 宗可下り下

一 騎馬勢子より改雑子居いし所柏子本合しる所引返ええ
宗、宗五馬より立りし所度も口寄り下馬と立知せ
さくらの心助と寄りしと立りし事

一 馬と通り換はう強右に立り可なり事

一 雑子御立場と背キ二町七段落有之いざ横扇子の
お寄りし右の方、助者も馬より宗出い同し何れ
宗出り助者も何れ馬と立り御前の方雑子
進出り可しむをたえ方、雑子居いし二十町助通
可なり

但雑子進出りし柏子本より改の順より一行より宗り之の

立訪へるは五一可申は且又子あつて中ハ騎馬
向て合子馬ハ先赤の馬とて合子赤子ハ
致し一途馬ハ随分路より馬つて申すはよく赤
てしむを運くは路より声と掛子く赤は可
致し下

一 雑子馬勢子の向と後、後山で申るも端より雑子板
山騎馬より方より雑子とて赤は痛、後と申すは一先なる

騎馬行合備立置 申あり方、雑子遊より赤は下

一 雑子遊より赤は山中程も手前より赤は川を越

はと拍子本とて合馬行のり、之の赤は下

一 雑子川路より赤は申 申あり赤鷹とて赤は下

雑子とて赤は申すは、通に赤は下、備立は助産婦

申すは下

但雑子の路とて赤は申すは、申すは下、た名の人

市徒方畝ノ譜

一 千本堂村

松村 千本堂組

一 根成村

本多久六郎組

一 門村中乃通

水組

一 西庄村境通

雀部新六組

一 丸太橋

去屋平三郎組

一 首尾門橋

長田三右衛門組

一 戸田渡

建部志右衛門組

一 赤田

紫田三左衛門組

一 林

林 若口而組

一 坂

坂 沼吾左衛門組

一 戸田街乃中程

吉田小右衛門組

一 右ノ街乃末

中山主水組

一 小豆坂村

大窪田惣八組

御之纏



一 惣勢子人取又子人様外ニ百姓勢子に又子人斗

但御成道ノ當番御音之趣ハ以共ニ残

一 小十人組 石錢

一 御小姓組 石錢

一 小十人組

但残リハ御供并勢子

一 志村坂

御置伊勢組

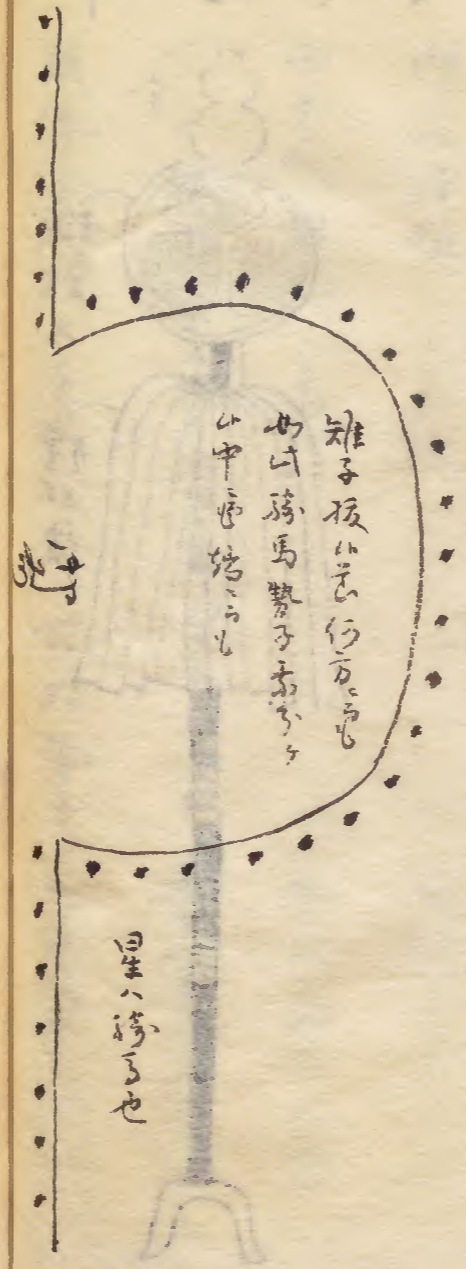
一 山口山

永田源左衛門組

一 御徒五人御用次第池川守公若

一 御徒二十人御用次第十間置五右衛門守公若御用次第

御子進守公若御子進守公若



御子板馬勢子亦也

御子板馬勢子亦也

一 享保十一年西年十月十日御子板馬勢子亦也

一 御子板馬勢子亦也

右 御徒五人 御用次第

左 御徒五人 御用次第

御徒五人

御徒五人

御徒五人

御徒五人

長柄

張

持

長柄

御徒五人

市平丸
大年寄 同
豐置
市使目付
市外山
市長刀
市富
市使目付

市平丸
市使目付
市長刀
市富
市使目付

市平丸
市使目付
市長刀
市富
市使目付

市平丸
市使目付
市長刀
市富
市使目付

市平丸
市使目付
市長刀
市富
市使目付

市平丸
市使目付
市長刀
市富
市使目付

市平丸
市使目付
市長刀
市富
市使目付

市平丸
市使目付
市長刀
市富
市使目付

市平丸
市使目付
市長刀
市富
市使目付

市平丸
市使目付
市長刀
市富
市使目付

市平丸
市使目付
市長刀
市富
市使目付

市平丸
市使目付
市長刀
市富
市使目付

市平丸
市使目付
市長刀
市富
市使目付

大町五尺
小坂備中守

口五刀 大町五尺 口五刀

市傘 市豊建

市桑年出

市板寄尾端主一人
市桑年一人

市板寄尾端主

市築名

大目付
奥津社也

市徒目月一人

市徒一人

小室原鎌友舟

長柄

小上膳
丁利 同

市徒目月一人

市徒一人

大年寄

市徒一人
市田

長柄

市年寄
三藤
市徒一人

同 市福

市徒一人

同

市徒一人
中老
市徒一人

長柄

市徒一人
市徒一人

同 市

市徒一人

市人志人素物

市小姓
市徒一人

黒縁高物

市徒一人
喜段
早川

御書
同利紙

御使二人
御使一人

同
御使一人

御使一人

松ノ枝

口一人

御書

同

御使一人

御使一人

御使一人

口一人

御書

御使一人

御使一人

御書

御使一人

御使一人

御使一人

御使一人

御書

御使一人

御使一人

御使一人

御書

御使一人

御使一人

御使一人

御書
御使一人

御書

御使一人

御使一人

御使一人

御書

御使一人

御使一人

御使一人

御書

御使一人

御使一人

御使一人

御被箱 三ツ

松平定房守
五堂文字紙

十種香乃具

松平定房守

御白袋
十二手紙

松平大炊次

御紙帳

井伊掃部頭

呉服箱 二ツ完

松平右衛門督

松平丹后守

松平昌高守

松平清路守

御提重 一組 完

松平右衛門督
松平甲斐守

御紙帳

松平出羽守

御小袖草子 一對

松平昌高守

源氏一部
被衣一部

方之中務左衛門

紅輪子 十二巻

松平大和守

御文箱 一
御硯箱 一

上校源次郎

御料紙硯箱

酒井雅樂次

御茶舟當 一

小山立原守

東鑑 一部

松平陸奥守

銀御汁次 二

酒井左衛門尉

御手巾 一組

柳原民部左衛門

御幕 一對

立花元清守

御蚊屋 一張

牧野駿河守

御幕 一對

大久保加賀守

御幕 一對

松平越中守

御沈割

松平左衛門守

御白唐櫃 一對

松平備後守

綿百把 完

福桑丹後守

松平出羽守

奥平大膳大夫 南部修理大夫 堀田内記

土屋但馬守 丹羽九郎左衛門 伊達左衛門

河部豊後守 戸田伊助守 河部伊勢守

真田伊豆守 宗 對馬守 牧野對中守

御空燒柄一 松平豊後守 銀砂鉢三 松平主膳正

銀砂鉢三 松平肥前守 盛衰記 中川内膳正

御香具箱 内友佐右守 鉄川鍋又 戸次上総守

二代集 松平丹后守 御文箱一册 松平九郎左衛門

銀小焼物臺 出井大炊頭 平家物語 川友集人

御かろりと一册 本多主膳正 冬之御菊又 本多中務左衛門

大火くろく 打馬浮雲廻 御桑葉司一 松平左衛門守

御茶室司一 仙石信忠守 御伏香一册 津恒去佐守

御羊文お二 青山大膳亮 御耳盤三 松平豊後守

大行忍一册 宛小倉原と改守 秋之但守守 久世源次守

松平源一退 友堂大昭亮

石川主后

井上河内守 鍋島物守

世幼孫守

松平伊豆守 以上十人

御耳鹽

松平豊後守

御見臺一

龜井隆俊

御香炉箱

内方大初

大廣蓋二枚

堀九京亮

御守文箱二

出波丹守

上月

朽木去仇

細川伊豆守

御長文箱

秋月長門守

御長文箱 木下右馬允

上月

木下多助守

御刀掛一射

諏訪安藤守

夏御禱二

鳥居丹波守

御食籠一組

西尾隱岐守

上月

加友孫三郎

御荷一

松平大藏

上月

伊達若狭守

押鉄 三十本

松平勘伯郎

御寄掛一

小出信徳

白羽重 十疋

永井伊豆守

上月

松平伊豆守

御草蓆 八間

松平物守

上月

松平九郎大次郎

清黄羽三重^{十七} 完

土井甲斐守

小多豊守

全表出^五守

九鬼丹守

松平采女

細川忠尚^五守

永井忠深^五守

紅縮緬^五卷^六 完

土井清路守

山内康元^五守

お良遠江守

松平主膳^五守

植村右衛門^五守

河部多富

大食籠^一 田村澄政^五守

上^三月

毛利恒守

御菓子盆^十枚^十 板倉甲斐守

上^三月

福垣修守

御机^一脚 松平大守

上^三月

松平栞磨

御文箱^一 池田内匠

御菓子盆^{三十}枚

大久保伊豆守

長目錄^一 三浦吉政^五守

銀瓜^四十

織田豊守

御塗同鍋^二 大村河内守

中御食籠^一箱

島津恒守

長目錄^一 伊丹兵衛^五守

甚盤^一面

毛利周成

将基盤^一面 松平玄蕃^五守

大重^一箱

六郷恒守

大重^一箱 分部丸高^五守

御録^十箱

黒田豊守

御火燵蒲団松平備中守

上二日

内亥丹波守

御横目録名酒并石見守

上二日

表御守

御廣蓋^二保科淳正忠

御衣櫛^一脚

坂右衛門允

御香盃^一板倉右衛門允

繪^四指身^四槽物^四

鍋島鐵部

御葛心毫^一完

鐵田出守

岩井河守

有部甲斐守

増山河内守

高橋信守

白羽守^二完

后桐石見守

加納守

土方河内守

有馬兵庫守

加納守

御衣櫛^一脚大岡左衛門守

御手拭掛^三

酒井信守

御硯箱^一九鬼大隅守

大行李^二

坂田出守

大小御爪手洗水野日向守

御道名^一

松平淳安守

中御重箱^一完

堀江守

園但守

市橋守

稻垣守

谷出守

晒布^二完

福垣守

大島守

久留島信成

三宅信成

酒井信成

米倉丹成

松平英成

本多成成

赤松丹成

松平近成

池田丹成

高橋修理

牧野内成

内成修成

内成丹成

以上十六人

桑羽二重之 小笠原近成

御小廣蓋三枚

堀田大和

御双笏一 松平俊成

御守懸一

本多兵衛

御小刀一 柳沢刑部

御羽二重五枚

細川玄蕃

御手波一通 高田丹成

御廣蓋二枚

河野同成

御笏一 小笠原近成

御手水盥

本多木成

御双六盤 松平健成

御水引一

松平志成

御念珠一 小堀信成

上一 目

本津出成

御短冊一 柳多成

御歌骨牌

大久保長成

御書札一 戸田大隅

御通一

本多成成

大念心電一 板倉伊豫守

大廣蓋二枚

松平觀負一

小念心電一 松平河内守

銀かぶせ二

本多肥後守

紗綾白 伊東修理亮

小念心電一 一

丹伊國守

足行丸皿 遠夏佐守

毛氈二十枚

吉川元京

大吉利二 井上守 松浦木守

御小重一 一

建部丹波守

御小重一 松浦大守

上二 月

上秋波守

日 志木三水正

日

丹羽或松浦

法黄縮緬 新庄波守

上三 月

織田乃野守

日 京極三守

日

一柳出守

日 織田甲斐守

御手燭一 一

永丹波守

御鏡皇 本庄大守

晒布二 正

丹上守

御双守 柳生俊守

御守 柳守 茶碗

堀守

御鏡家 酒井修守

小丸皿 十枚

内田公守

茶羽二 重二 山口伊守

御双蓋 三枚

松平安守

大念心流 戸田右近將監

紅羽二重 又之

石川近江守

紅輪子 松平伊豆守

羽二重紅白 又之

牧野河内守

羽二重紅白 戸田山内守

日

水野和泉守

日 酒井讃岐守

日

安房對馬守

日 松平右京大夫

日 又之

太田後中守

日 松平能宅守

日

水野忠政守

八枚柳神屏風 松平九郎將監

御香盆 一通

本多伊豫守

丸盆乃枚 帝内鍋十 小桑遠江守

伊勢物語 古今集

仙石丹波守

造花草 百人一首 酒井沼波守

銀印色 十

約本根肥後守

御鼻紙若一丈八保刀也守

德利 十二

御廣安友以 六人

丸籠臺共 話訪若使守

燭臺 十二本

御留書若書 又人

鶴姫君様御入樂之行列 貞享元年三月廿音

右中根三稅 御徒目付

御小人目付

御徒一人

石碁御樂

左次田一高無 御徒目付

御小人目付

御徒一人

市徒

市徒

志乃

長柄

市貝桶

市挾箱

箱張

市徒

市徒

市日朋

日出日置山日吉元

貞阿孫

松平九門
松浦市右
根生市右

市長刀 市貝桶渡戸田山健也

市守服指

素原吾孫

市長刀 市樂渡 大久保加賀也

三浦八郎

市樂源十人 大島元

市樂建

市樂

市拿

筒井統務

市樂源十人 大島元

市樂建

市茶舟

坊主三人

梶田金兵衛
膝部平八
海口市右
仇山角右
小池玄之丞

林 信濃守
坂田對馬守
吉原坂守

御徒目付一人

御徒三人

長柄 滝野 日吉 祿 日吉 日吉

御徒目付一人

日吉 田 日吉 山 日吉 日吉 日吉 日吉 日吉 日吉

継代 桑物 山崎 日吉 日吉 日吉 日吉 日吉 日吉

日吉 日吉 日吉 日吉 日吉 日吉 日吉 日吉

日吉 日吉 日吉 日吉 日吉 日吉

酒井 能也

松浦 内藏

日吉 日吉

御徒目付一人

御徒目付

御徒目付

御徒目付 御徒目付

御徒目付一人

御徒目付

市役目付二人

市小人目付三人

市小人押 惣括之同勢

市役目付二人

市小人目付二人

市役押モ人

市小人押

市小人押

市役押モ人

市小人押

市島家市禮法 并

市法令各条端之事

一國ヶ原市利運後子米永井名を大藤直勝といひ細川玄春

と云ふ三室所家之禮法と同リをいふ又勇武又長門

と名出され將軍家の書札に記述をいひて市家之

禮法と云ふふを他家の禮法とも宜に混む小増加

り甲州市村入に或白の条法とい甲佐駿に三ヶ玉と

平法といひ國東市村入に市島家之法令とい用らる

但年貢之市收納に收く定めあり

市島中方之事

一 天英院様

従一位 文照院様 御臺前

二九、御位右

一 日之院様

従三位 有章院様 御母堂

少御丸御位右

一 養仙院様

八字姫君様御事 水戸右少将及御兼中

三、御位右

一 牛姫君様

松平大陽寺兼中

壽光院様 御位右

一 蓮淨院様

大工部御母堂 御位右

一 法心院様

家代君御母堂 右近衛御位右

一 壽光院様

大典侍長御位右

一 清心院様

新助長御位右

牛込大久保大陽寺

上ノ御位右

東武廣錄十

Faint, illegible handwritten text in vertical columns on the right page.

東武廣錄十一

公

目錄

三
官
方
核
計
全
部
附
錄
所
在
部
門
之
事
務

東武廣錄十一

目錄

公方様
牙口

一 公方様小全中野牧御席將之事

東武廣錄十一

公方様小全中野牧所康符之事

享保土丙午年三月廿三日 公方様下詔由小全中野牧

御遊獵之事御定書所用御用供奉之而

諸組之言作出也

一 御書氣強騎馬所御外之支由新表小全人馬強騎

馬之通平之御儀可致之度事

一 御徒口心二葉の法を置かぬ御職の意用下

一 典力二口心二お申お申の御職支度より致可下

一 歩行立之御当流 亦御徒典力口心等々御組取上

高下致若引事

一 古く趣向二口可言お遣い

一 古く西之木戸二御自之口心二也也而、御射組取共

一 組中召連 御寄走也而、御流歩行立之口心二也也

一 何所弁柄之餘時三御立召次御組取之流、一其流寄

一 一其置御組取之口心二進出、流寄等々御立召次

一 次弁御書方々入等、也而、口心二下御立召次

一 古く御組取二馬上等々御立召次二御立召次

一 古く御組取二脚手次弁立之御職意二口心二御立召次

一 御中一御立召次二色々等々一御職意二口心二御立召次

一 色々書方々御立召次

一 五カ口心は先達言州細の外屯下、昔金改に坂上之助が

下川を細路、市乃島次丹流喜山等も右邊に居たり

但五カ口有合し御威威せし川口心は此の邊に居り威威せ
む後川心有合しと云ふ可なり

一 大島川書院より川心姓組等しく御度より所為高之通

へ寄るお助より川心西之木戸より市目之可致以下

一 小室川流狩より所為高之通へ寄る御度より所為高之通

出り川心御度

一 柳之、所為高之通より所為高之通へ寄る御度より所為高之通

お通へ通、ふと人分れつり川心御度より所為高之通

うまの事

一 柳村崎、所為高之通より所為高之通へ寄る御度より所為高之通

り編より所為高之通より所為高之通へ寄る御度より所為高之通

等者高之通より所為高之通へ寄る御度より所為高之通

信より所為高之通より所為高之通へ寄る御度より所為高之通

比事

小宮山亦子之通 言下は名之は知 録中、下中、清い

一 馬上之面、口付く者、心立、お侍、若い、いふ

一 松戸、右、左、馬、若い、下、お侍

一 御坊、之、常、京、西、之、本、戸、之、御、自、之、言、騎、馬、之、面、

自、多、く、路、馬、牽、附、布、柄、之、塗、口、付、之、百、姓、お侍、

一 騎、馬、勢、子、之、面、口、付、者、白、小、宮、山、亦、子、之、通、京、お侍、

右一組、切、口、付、之、清、毛、山、仁、之、名、小、書、出、之、事、下、

一 鑼、旗、持、之、け、方、小、石、崎、御、徒、自、月、お、侍、を、お、行、信、下、

一 山、子、是、又、清、毛、山、之、力、又、お、侍、之、姓、名、山、亦、子、之、通、

一 小、宮、山、お、侍、之、面、口、付、者、御、坊、之、清、毛、山、亦、子、之、通、

右、情、之、出、一、可、言、お、勤、事、

一 御、本、丸、御、山、姓、組、十、人、

一 月、御、書、院、書、式、組、十、人、

一 西、丸、御、書、院、書、式、組、十、人、

市川通

九時出立

百人組一組
御徒三組
御書院番一組
御小姓組一組
百人組一組
御持一組
御銃炮方一組
小十人二組

八時出立

四時出立

御持一組
御徒三組

九時出立

御書院番一組
御小姓組一組
御持一組
御銃炮方一組
御芝手三組
御芝手二組
小十人二組

八時出立

御書院番一組

一 御徒三組
一 御書院番一組
一 御小姓組一組
一 御持一組
一 御銃炮方一組
一 御芝手三組
一 御芝手二組
一 小十人二組

一 御書院番一組
一 御小姓組一組
一 御持一組
一 御銃炮方一組
一 御芝手三組
一 御芝手二組
一 小十人二組

一 御書院番一組
一 御小姓組一組
一 御持一組
一 御銃炮方一組
一 御芝手三組
一 御芝手二組
一 小十人二組

一 御書院番一組
一 御小姓組一組
一 御持一組
一 御銃炮方一組
一 御芝手三組
一 御芝手二組
一 小十人二組

一 御書院番一組
一 御小姓組一組
一 御持一組
一 御銃炮方一組
一 御芝手三組
一 御芝手二組
一 小十人二組

一 御書院番一組
一 御小姓組一組
一 御持一組
一 御銃炮方一組
一 御芝手三組
一 御芝手二組
一 小十人二組

一 御書院番一組
一 御小姓組一組
一 御持一組
一 御銃炮方一組
一 御芝手三組
一 御芝手二組
一 小十人二組

一 吾ハ本教訓部ニ打立の時ハ、語一文字ニ之並子

打立時ハ、綱路、強多、龍ノ實ノハ、何迄ノハ

一 亦所所、橋、束、何、ハ、挑、灯、ノ、清、ハ、白、少、知、命、ノ、ウ、テ、知

一 忌、中、産、程、ノ、者、モ、亦、所、所、ハ、多、ク、出、テ、苦、シ

一 為、亦、荒、枯、ノ、力、成、ハ、亦、亦、成、前、日、一、組、ヲ、結、ハ、先、ハ、知

ハ、之、後、改、メ、知、進、也、也、一、者、生、命、ノ、行、者、人、病、ヲ、多、ク、言、テ、難

名、代、ノ、ウ、テ、知、能、病、者、多、ク、下、成、ノ、ハ、ハ、多、ク、也、於、亦、所

一 亦、所、所、ハ、多、ク、出、テ、苦、シ

一 亦、所、所、ハ、多、ク、出、テ、苦、シ

一 亦、所、所、ハ、多、ク、出、テ、苦、シ

一 亦、所、所、ハ、多、ク、出、テ、苦、シ

一 亦、所、所、ハ、多、ク、出、テ、苦、シ

一 亦、所、所、ハ、多、ク、出、テ、苦、シ

多宮のしりあし、ハ多西ノ水戸ノ所見之寺ニ去ルル由
 内領ノ一ノお清ノ内綱ノ外領ニ至リテ順左ノ通
 但杭木、改メ為テ記ノ方ニシ

又久保彦左衛門 山名國清 松平伊勢守

榑村土佐守 仁木内膳守 河部忠清守

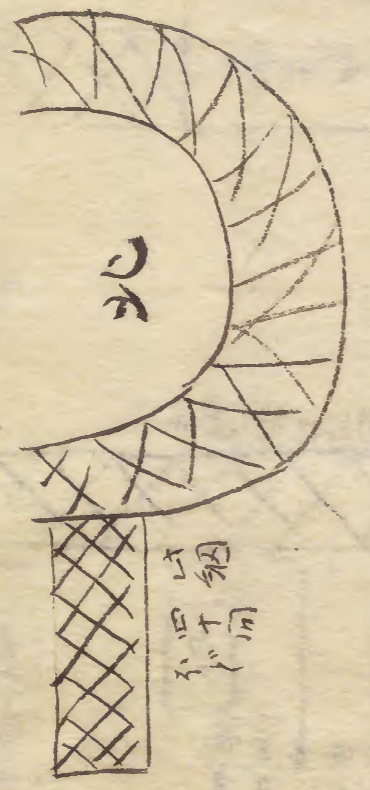
赤川乃孫 石川丹次守 金田用房守

三浦肥後守 酒井日向守 水谷玄月守

山口伊豆守 松浦玄孝守 深谷隆敏守

小坂信中守 酒井紀伊守

一享保土年午三月廿六日 銀井小全中野牧 亦持場守



山崎
山崎
山崎

山崎
山崎
山崎

山崎
山崎
山崎

山

山崎山崎山崎山崎山崎山崎

山

山崎山崎山崎山崎山崎山崎

山崎

山崎

山崎

山崎山崎山崎山崎山崎山崎
山崎山崎山崎山崎山崎山崎

山

山崎

山崎

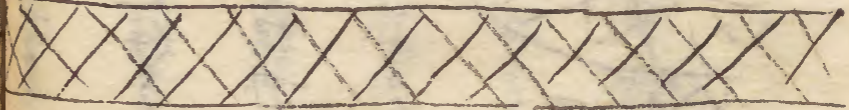
山崎

山崎

山崎



山崎山崎山崎山崎山崎山崎



山崎

山崎

山崎

山崎

山崎

山崎山崎山崎山崎山崎山崎
山崎山崎山崎山崎山崎山崎

山崎山崎山崎山崎山崎山崎

山崎

山崎

所立均分五口心法均之七百十間全

百人組別均水手勢子並

頭

二

三

四

五

一年三月廿五日庚子別之市見名凡口分二九銅印通了部

と終る所橋分所兼取水戸橋分所と古七日巳別之小金所橋分

而、言わ入ら所橋分始以奇所橋分所國分外所馬之所巡見

と終る所兼取水戸橋分所と古七日巳別之小金所橋分

小山之原石名

岩本内橋分

中津浦右之

浦上浦右之

土岐丸左橋

墨村浦右之

中島三九橋

目賀田幸助

酒井市之丞

酒井口向之組

栗川口向之組

約井宮内

齋田市十郎

右二行上之十人弓所用十七人所吊之鏡白如くの改抄

所馬く前段所路分奥向之近長考申若手考之外一

り、所供

一日未別所將也、選所、在取宜別以布城、
入所、
入所、

所物、
所物、

内、
狼一匹、

一、今日所毛天鴉、絨之、少、
所手、白、松平、九、近、所、監、

一、松平、九、近、所、監、

所、槍、重、

大、重、槍、

長、或、尺、四、寸、横、

一、重、

一、重、

到、貝、

一、重、

大、改、筋、

一、重、

山、椒、

一、重、

五、寸、燒、

所、槍、

所、將、

松、平、九、近、所、監、

松、平、九、近、所、監、

水、中、

大久保佐治小供 戸田肥前小供 有馬兵庫次

朝遠小供 大久保伴實小供 宍倉出好小供

騎馬水勅西

中奥山小此 紫田日向小供 古石上作小供 青山丹好小供

青山内紀 川白采女中奥山白采 松平 仲

土岐守刀 長井初一中奥山白采 向井 為盛山手

川手 戸田又介川手 酒井市之丞川手 織田市十郎川手

所之人、川之河、白奥白之面、書文勅

牧地極大、銀五万 本原伊三郎 右邊馬之面、手位所出

一 西丸御書院出

菅狀用紙 羽織黄色之人 菅狀用紙 羽織白地赤乱墨之人

河井史家 羽織青地之人 牧地極大 羽織白地色幅文之人

右四組之馳騎馬二十人、一五之進留之勅之令、川手

とある所を以て川網角、乃終と終ると記

市小姓組

古以組以二上

豊以庵と指し經と記

一高組
大久保左衛門

源勝三郎内
孫市代之

組以
少将孫市

陸奥島一平相殿は宗勝より山崎元十九人内柏子本没一人

歩行之出高元十九人
部合三十三人

四高組以
河野出高

組以
小室独右衛門

二の年相殿白赤使と勝元二十一人内柏子本没一人

松平伊勢守

小山左衛門

初御是 勝より山崎元二十二人内柏子本没二人
歩行之出高元二十二人
部合四十六人

六高組以
金田周治守

組以
棟原元二命

初御白使中三 勝より山崎元二人 歩行之出高元二十六人
部合四十七人

組以
大久保孫三郎

七高組以
水谷出羽守

初御白使后身守り 勝より山崎元二人 内供方三人
内供押込人 歩行之出高元十人
部合四十八人

八高組以
水谷隆政守

組以
栗川主之丞

古以
石川舟倉

組以
乃尾七色傳

騎了山古流十八人 歩引三山古流十八人 押傳了古
羽織王 坊合三十八人 押三人

秋之集人組 了未伊勢守組 了組所當了居由也

一新柳書方 古以組以 古流布仰港坊古古以組以

馬牽分歩引了古古古古以一庵了指

古以
土屋頼母 古以
武川孫八

古流十六人

小野源右衛門

坊了未勝了兼

古流十五人

三枝九兼

山三原久左衛門

古流十四人

羽織白地改置

柳原安氣了組

渡辺外記組 了組所當了居由也

一大町古組方古以組以馬上山古流布仰港坊古古以

心二并杖坊古古以組以出庵了坊古以好織白地了坊了

勢子一喜し追ふに少節は好宗の二一五、おが

山名目録

組

伊達庄の

組 伊達庄の

山名目録 伊達庄の 永田吾次郎

組 合三十二人

内務 七人

植村去佐

組

向山七之助

村上九郎

山名目録 伊達庄の

伊達庄の 永井新次郎

組 合三十二人

外 五カ所

東川七郎

組

伊井源八郎

伊井源八郎

山名目録 伊達庄の 伊達庄の

三浦肥後

組

小宮山五郎

伊達庄の

山名目録 伊達庄の 伊達庄の

組 合三十二人

外 五カ所

山口伊豆

組

日比地七郎

伊達庄の

山名目録 伊達庄の 伊達庄の

組 合三十二人

外 五カ所

小堀傳中

組

伊平市之助

伊平市之助

山名目録 伊達庄の 伊達庄の

組 合三十二人

外 五カ所

板倉力也

組

伊達庄の

強口組 京大坂上島也

一少後人組 八尾尾崎之馬車舟安の之云在互組中

舟揚下陸水之組 八手舟舟行達の組と云

世舟権江部

与以 寺中住持の
入江又八部

山崎流の感物手舟舟十二人月一人弓所用

雲外七之傳

与以 酒井孫三郎
助井友助

山崎流の感口舟舟十二人月弓所用二人

瀬名傳右衛門

与以 寺山舟舟
車村又三郎

山崎流十七人月弓所用二人

池田教馬

舟傳方

与以 依本寺舟

山崎流十七人月弓所用三人

渡辺元八

与以 大之保舟舟

山崎流十七人月弓所用三人

了

但舟傳権舟舟三人 合五人月弓所用三十八人組
乙丸舟舟三人

一 市徒十二組

勇雄権之丞

若掛伊織

松崎主馬

石河左九郎

向井兵庫

小笠原頼母

市任 川崎主税

佐々又右衛門

吉田小右衛門

市任 堀 求馬

朝世頼貞

市任 神保源次郎

一 百人組の馬の上座と番と力口公勢子人は是れを市徒と
稱す一組より又人々の玉ふは銘記あり

久貝忠左衛門

舟越五郎左衛門

一 市徒部以右の如

但市徒部は仔細を向ふ

松田普右衛門 小池次右衛門 青山彦藏

一 市徒部右の如

戸川又右衛門

佐波次右衛門

逸之原彦藏

窪田助右衛門

細井仇次右衛門

田村主馬

佐木之右衛門 大井新右衛門 牧野八左衛門
山川安左衛門 寺田左衛門 近藤十左衛門

以上十二組

一 柳鉄炮方 田村口部 馬込寺之助

井上三郎 田村之次郎 田村馬込寺之助

右組 柳鉄炮方 田村之次郎 田村馬込寺之助

又人の馬込寺之助 柳鉄炮方 田村馬込寺之助

一 柳寺司奉新 矢代要人

一 柳鷹匠 小栗長右衛門

柳鷹匠 柳鉄炮方 田村馬込寺之助

鳥見隊 田村之次郎 田村馬込寺之助

一 柳寺司奉新 田村馬込寺之助

田村馬込寺之助 田村馬込寺之助

一 柳馬方 柳鉄炮方 田村馬込寺之助

一 所用御心定、及新

大目付

如桑家房守

市目付

福永多富
福永式部

中住 松波三左衛門
三宅大学

保科高太郎
水野宗母

一 大町与屯下附

市目付

長谷川与左衛門

一 市書院屯下附

市使者

西尾九吉

一 市小姓組屯下附

市使者

江相帯刀

近藤馬附

市目付 松平一学
又久保利助

市目付 小川新九郎
市目付 市力平八郎

市目付 河部大学
市目付 市之伊織

市目付 市力平八郎
市目付 市之伊織
市目付 市力平八郎
市目付 市之伊織
市目付 市力平八郎
市目付 市之伊織

一 長谷川市目付市使者松平通了市川通了佐与少左衛門

市外九、五、五

一 市醫部 市人 市供之外

市川通

市目付 市力平八郎
市目付 市之伊織

市目付 松平通了

市目付 市力平八郎
市目付 市之伊織

一 騎馬之負物執刀子之分

市小姓組八百七人

市書院番八百七人

西丸所書院書院二十人 大所書院二十人

功合武百之拾七人

一歩行立之者其勢子一

所小姓組百拾九人 所書院書院九拾七人

新所書院 百拾七人 大所書院 百拾七人

小十人 百拾七人

於合又百拾七人

所凌之組勢子百七拾人

一典刀口心勢子一

大所書院書院 与力百拾七人 口心百拾七人

所書院書院 与力百拾七人 口心百拾七人

百人組勢子 与力百拾七人 口心百拾七人

所持組勢子 与力百拾七人 口心百拾七人

所銃炮方勢子 与力百拾七人 口心百拾七人

御足手十二銀与力七拾三人 口心三百三拾人

那合子百拾三人

月

与力或百五拾人
口心八百八拾三人

右外大小之諸役人等供奉之分以負取之外也

是ハ之了ハ執力子斗之台取也

東武廣録十一

東武廣録十二

公

日録

一 皇宮様日支加社高下事
一 二 歌謡球所の事

春 舟入の事
冬 舟入の事
...

東武廣錄十二

東武廣錄十二

目錄

公方様中云

一 公方様日支御社為之事

一 大猷院様御代之事

但 御政道之大事

御誕生
所他界云々

東武廣録十二

公方様日光御社系

一 享保十二戊申年四月日光山御社系御行列

所乃中日光寺御泊御休之場不

四月十三日

御休

平柳

日光
四里

御桑屋

伊太半左衛門支配所

十日

御泊

岩附

平柳
六里

永井伊豆守御分

十四日

御休

幸手

岩附
四里半

御桑屋

伊太半左衛門支配所

十一日 御泊 古河 幸手分 本多中務左衛門

十六日 御休 小山 古河分 四里 市桑屋 口人

十七日 御泊 宇都宮 小山分 六里 戸田山城守

十八日 御休 大沢 宇都宮分 又里 市桑屋 市神領

右邊 市山内

一十三日 市桑屋 市見立之面

堀重市門月白砂 溜一詰 市後代名口崎子

下系楊奇

市玄同奇 詰荒日崎子

市門中之市門之葉之間 結規詰口崎子百人組

大巻以 又巻以

右之外於殿中 御目之 還御口崎

一 市留了 毎日七城 松平澄政守 松平伊賀守 左中

本多伊豫守 若年寄

子別立

御妻方 秋元 但馬守

旗 弓二十張

鎧六十筋 鉄炮八十挺

馬上三十騎

丑別立

御方 不多 豊前守

旗 弓十二張

鎧五十筋 鉄炮六十挺

馬上二十騎

寅別立

御方 松平 九郎 佑

旗 弓又張

鎧十二筋 鉄炮十挺

馬上 又騎

卯別立

水野 和泉守

旗 弓二十張

鎧六十筋 鉄炮八十挺

馬上三十騎

卯別立

水野 和泉守

長柄十本 鉄炮十挺 持 鐵方之

弓 又張 持 筒 持 弓

馬上 又騎

卯別立

若年寄 水野 吉政 守

旗 弓 又張

鎧十二本 鉄炮十挺

馬上 又騎

卯別立

御幕 長持 式

御幕 串

御幕 奉行 一騎

海地 新 路 初 年 一 部

御幕 串

御幕 串

馬 一 人 二 人 皆 籠 持 一 人 合 持 一 人

御玉樂箱拾

御寶箭奉行一騎

御矢打十騎

侍了小幕多り口

加茂求馬
屋代要人

御弓矢鑓奉行一騎

十丁

御銃炮又十丁

十丁

侍了幕多り口

右口口
右口口

小定通人相可連外
長柄十丁又手云下
旗一丁為手

十丁

侍一人 鑓持一人 草履五人 合持七人
口付二人 合人七人

百人組以一騎

同上 日与力拾騎

御銃炮

同上二騎 銃炮三挺弓一張
長柄十丁 銃又本弓一張
兼三丁 合持

右口口
右口口
右口口

五拾挺

二十

百人組以一騎

十丁

日与力十騎 同種
二十

御芝心同是組 同
御芝心之 同
御芝心之 同

十丁

侍三人 銃持一人
兼一人 合持
兼一人 合持

御芝心是組 同

御芝心之 同

合十三人

右口口

内定一人 石連
弓刀騎子
以同

二十
御旗長持
三
俸

ふり 袋入

弓刀騎子
以同

御旗奉行
御芝弓

内定一人 石連
二十
御旗

頭一騎
弓刀騎馬

御旗奉行
御芝弓

弓刀騎馬

御使書者騎

侍二人 能持一人

出立者一人 兼

一人 合持者一人 合十人

是三
供雨具
方持

御使目付

是三
御使目付

御目付者騎

御使目付

御使目付者騎
但小倉 石連 御使目付

侍六人 能一人 兼一人

馬一匹 二人 出立者一人 兼一人

戸田肥前守

御目付者騎

以同 十人

土屋 兵部 少輔 湯日 代

一人 御使目付 兼

松本 主馬

稻葉 式部 代

御持筒五十張

以同

御持筒以五十張

与力十張
中行与力供八引

十同

侍三人能一人
侍二人能一人

御持筒五十張

不

御持弓以五十張

序一皮

御抽鞘御鏡二十張

以同

供了心是手引

以同

御鏡奉行手引

二十

御抽鞘御鏡二十張

不

以同

三足、陽鳥

御石智御馬

御駕籠

御狭箱

御弓立

四宛

御徒目付

御具足

御傘

御立立

御床机

御徒目付

御曲祿

二十
同祿
御後
御後

四組

御長刀
御腰物筒

御長刀
御腰物筒

御

御小納戸

御小姓

御小姓

御小納戸

信

御小納戸
御小姓
御小姓
御小納戸

御書院書

御鳥見

御小納戸
御小納戸

御小姓組

御鷹匠

御時鐘司

御筆箱代

御日霞

御雨霞

御筆箱司
御筆箱司
御筆箱司

御小道具

御手筒

御手筒

御小人目付

御信三

御手筒

御後目付

御石之御馬

御馬印

御中目付

御手筒

御使

御具役人

御具使

御持弓

御持弓

御上拾人

御右靴役人

御右靴

御馬

御馬

御

御持弓

御持弓之次

御持弓

御持弓

御持弓

御持弓

御持弓

御持弓

御持弓

御持弓

御持弓

御持弓

御持弓

御持弓

御持弓

御持弓

御持弓

御持弓

御持弓

御小姓

御小姓

御小姓

御小姓

御侍

御侍

御小姓

御小姓

御小姓

御小姓

御小姓

御小姓

御小姓

御小姓

御侍

御侍

御侍

御使

御使

御使

御使

山書院書院

馬

侍二人やう二人

侍一人やう二人

出花一人

合十人

不

日山書院書院

侍二人やう二人
侍一人やう二人
出花一人
合十人

日山書院書院

山書院書院

侍二人やう二人

侍二人やう二人

出花一人

山書院書院

馬

侍二人やう二人

出花一人

日山書院書院

山書院書院

侍二人やう二人

出花一人

山書院書院

侍二人やう二人

出花一人

又上へ山書院書院
侍二人やう二人
侍一人やう二人
出花一人
合十人

山書院書院

山書院書院

山書院書院

山書院書院

山書院書院

旗
鎗
弓
鎗
馬
上
三十
鎗

旗
鎗
弓
鎗
馬
上
三十
鎗

久
保
佐
廣
人
杖

馬
上
十
鎗

有
馬
兵
庫
杖

旗
鎗
弓
鎗
馬
上
三十
鎗

加
納
遠
江
杖

右
口
一

市
供

佐
右
人
杖
馬
上
三十
鎗

旗
鎗
弓
鎗
馬
上
三十
鎗

松
平
玄
吉
杖

市
政
押
松
平
玄
吉
杖

旗
鎗
弓
鎗
馬
上
三十
鎗

馬
上
三十
鎗

右
口
參
加
杖

大
納
言
様
所
通
杖
市
目
之
言
乃
請
之
席

一
市
目
書
杖
溜
浩
一
西
湖
之
間
經
類

一
市
目
書
杖
市
目
之
言
乃
請
之
席

一
市
目
書
杖
市
目
之
言
乃
請
之
席

一
市
目
書
杖
市
目
之
言
乃
請
之
席

一
市
目
書
杖
市
目
之
言
乃
請
之
席

所儀隱所旅館と左と西と云ふ事と云

西丸所納戸
野村角右衛門

石門通口
西丸所納戸

道中
市之邊
市之邊

西丸所納戸
野村角右衛門
松平詮阿守

大猷院様所儀一町事

一 慶長九年七月十日 所城 所誕生

一 元和三年 台意院様之作 初之西丸、所移

徒、下日六年正之位大納言、任也

一 八年所中丸所修營、台意院様西丸、所移

一 移、在、不、多、受、徳、寺、忠、政、宅、所、入、在、武、所、所、移

一月余所逗留有之

一 九年所上洛七月廿三日所余内才七日内大信

任之征夷大將軍補之六月廿日御去
七年大坂之町向方之

一 定永元年正月廿日 台息院様御田系代之

一 御旗之御講之御講代之大名於西丸御

一 酒宴之御下

一 是年朝鮮人且羽征夷大將軍以賀一奉

一 二年七月 日定御社之

一 日三年八月御上洛日十月廿日御氣内九右衛門

一 日四年九月廿日 天子之御之御城、行幸有之日

一 還幸有 世定永行幸記云 十二日御氣内十月廿日大坂

一 町向方之御城之町入

一 日五年四月 東照神君十二回忌、台息院様

一 日定御社 社 還御之御社之御方之

一 日六年三月御抱瘡九月日定、御登山抱瘡之御願不

と記す

一 日九年正月 台惠院様へ所喪中、とあり、
不々金銀も、法名法旌、とあり

一 日年四月 高野宮十七回忌、高野寺今布と所成有、
井伊掃部公直字と所名代と、日芝、と記す、
酒井雅樂也

一 日年六月 肥後守主加茂忠廣所科、と記す、
出羽守庄内、藝后と所月、一石と、とあり、
忠義、と記す、百人扶持と、とあり、
忠義、と記す、福守丹守正勝、
と記す、とあり

一 日年十月 甲斐守、と記す、
細川部中、と記す、
肥後守、
及孝、と記す、
鶴崎守、と記す、
と記す、

一 日十年二月十六日 諸大名諸士、
軍役、と記す、
と記す、

一 是年所旌、
と記す、
と記す、

一 二月十日、馬田右衛門、先父西山大格父子、而部、
配流、与作舟、以次、去年大格所、作、と奏、り、主人、右衛門、
致、送、り、今、由、り、以、得、大、所、以、味、し、し、不、宜、し、而、舟、右、也、
与、作、舟、

一 是、年、松、平、中、務、左、衛、門、右、衛、門、知、本、齋、生、氏、
賜、松、平、号、 与、父、齋、生、左、衛、門、福、西、吉、

左、衛、門、所、以、之、人、と、し、上、是、是、又、不、宜、し、与、舟、右、
福、西、と、伊、豆、と、之、島、流、罪、と、名、也、石、川、中、務、左、衛、門、

一 川、年、諸、所、諸、所、所、加、増、り、也、

一 一、月、不、川、辺、所、成、り、之、所、軍、勢、と、所、照、鑑、り、但、馬、橋、と、
事、也、

一 一、月、十、年、二、月、言、所、不、例、所、合、使、之、所、役、令、し、之、治、去、名、

治、旅、知、意、召、寄、り、於、所、不、丸、所、能、無、り、与、作、舟、以、所、内、

之、所、人、也、也、之、与、作、舟、鳥、目、と、也、

一 一、日、年、七、月、川、上、治、去、政、大、任、り、と、建、之、所、評、退、り、

十、日、所、不、系、内、

信子河津と云ふは信對する事あり五人と云ふ也
市並、市令味らねり如き事あり由に、是れ遠方也
返り信子河津宗氏に對する事

一 同月十九日板橋に神名より市待り

一 同月二十日船奉行より信子河津軍船より市送作り

一 同月二十日津並川より市より信子河津に送り

一 同月八月十日諸大名諸郡より、市法令十九日条より

一 同月十二月市旗より、市法令二十三日条より

一 同月三年法令より人夫と云ふは江戸市内外郭境に

堀あり諸町より外郭より堀と築く也 但 堀邊より西より

堀より西より大堀より信子河津

一 同月日山神君より市廟より市改造より信子河津

市社より同月又月二十九日市廟社より送管より市社

よりより諸大名より市社より市社より

一 同年三月新館信使來於是定下宮對馬也
一 同五年冬有一件其後宗氏宗家系之有也

一 同十四年所下丸所送管所手傳ハ松平右近允也之
松平宗茂等自成一ノ作所天也ノ石臺を築

少少所考中ハ要ハ所核也

一 同年三月才才代勝君所出生石川直之總幕目也

一 所改井伊勝妙以五右衛門と稱也

一 同年九月所下丸所創成所核也

一 同年冬肥前島原賊徒蜂起

一 定永十二年二月上ハ松平出陣也其改任爲小松也

とら上出也ととら下渡也也所代也と也

一 同年十月本島原賊徒悉退也

一 同十六年八月上丸火災也所考中ハ要ハ

一 同年南蛮阿媽港^{アモカハ}船長誘入船吉村支舟家

一 寛永十八年八月言 家經公御誕生皇日之役御酒

井河内守忠清戸田九門氏鉄籠刀之御上

一 門年氏部卿法尔通春之御付 神代系系外於編

年録録倉高都將軍之譜乃大唐王代之系高以

編集之

一 門年諸大名法至之御付各系高之御上此門真名以

假名以之真名ハ法尔通春系將春齋之御上編之乃

金地院良長者五之之諸長者也之御付假名ハ之御

山之見樹院立証乃所右筆之御上之御付於許定所

考之系高之系清書一奉納ハ大田信甲也之御付定

永九年成就之御上乃又公系系高門院院之御上列祖之

各御上之御上乃之御上是ハ之御上吉良少輔義法ヨシノブの御也

一 寛永十九年二月六日松平右京大夫乃御上之御上

御上之御上松城十二万石之御上

一 同年四月日 山奥院石宝塔所供書行信所社未

一 同年五月九日 所信代元六月代お定

一 同年九月日 所信代元六月代お定

乃 所信代元同所信代元六月代お定

一 寛永九年二月三日 津城之如者或部少備の成病乳并

領地元子一領再之十一上言詞と部と信之所免之成

父在馬太四切月子孫お領したるふ下領と云ふこと

内飛助の友と云置右の友領地同成と云置元知の成

丹加若民部田累年病重之月所奉云々はお景存存生

中より行給へ候建上守二守給へ下外と云上守子孫之部

三子と云と云置

一 同年七月日 保科肥後守正之最上守万石と云上守津城

乃三万石と云置

一 同年七月日 新館人高知十分所流右、若君保以誕生

とあり也且口走山、
神君之所廟付時息
鐘及香炉瓦籠燭臺
銘銘至王公与弟進

一 正保元年六月十日琉球人
島於乃有宅城所從上
舟口走山、相統入

一 口年十月乃有諸國諸部
上意西郎之若法城
宗子 法正海陸一乃路
古城おへ銀録東葉乃
法城

休形と部と入也川用御
舟古板乃宮城築事也

一 正保二年工月菊事大納言
館季乃 勅使

神君之社号と改之
官号と端乃館季乃口走
山向年
口乃乃所の諸者也

一 正保三年大町之世乱
乃由主信之援兵と就
東向山
乃故乃之清也

一 正保四年乃有乃有乃
船の艘長信乃入乃例
乃道乃舟勢
乃國乃口年八月乃有乃
有乃船所故乃乃乃乃

一 内裏 仙洞所 新院内所 伊勢太神宮

二十一年 日吉東照宮 冬竹滝山東照宮 東殿
内造替

東照宮 冬竹鳳鳥寺東照宮 江戸本神社

江戸多賀大社 三島大明神 祇園社 駿府浅間神社

乙清水八幡宮 孫竹山崎八幡宮 飯山根中堂

高野大塔 清水寺 和竹長谷寺 武竹浅草観音寺

二五 大興石所 三十三間堂 東寺塔 小室竹愛宕山

二五 火災所 日吉三佛堂 三外所 お竹大山寺

仁和寺 江戸増上寺

江戸外少神社 弘毅堂方々

東武廣錄十二

Faint vertical text columns on the right page, likely bleed-through from the reverse side.

